



ゆらぎ

2008. 2. 12

マーク制作：関知磨子（秋津コミュニティ：蚊帳の海一座）

（融合研のホームページ） <http://www.yu-go.info/>

（事務局）〒273-0122 千葉県佐倉市中志津7-17-4（TEL&FAX）043-463-1929

本号の内容

○巻頭言：油谷雅次副会長 「学社融合による子どもを中心に据えた教育コミュニティをめざす」

- 1 「第12回融合フォーラム in 松山」案
- 2 「第13回融合フォーラム in 厚木（仮称）」情報
- 3 役員会報告

※「第11回融合フォーラム in 島根」の感想をメールから転載しています。
なお、詳細な記録は「融合研設立10周年記念誌」に掲載します。

※事務連絡

- 2010年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます。
- 2009～2010年度の役員の立候補を受け付けます。

巻頭言

— 学社融合による子どもを中心に据えた教育コミュニティをめざす —

学校と地域の融合教育研究会副会長 油谷雅次

最近、子どもを取り巻く社会環境の大きな変化の中、学校だけではなく地域との融合による教育システムが重要になってきています。また街の中や地域では人間関係が希薄になる一方、高齢者を含む社会教育として大人の生涯教育システムの構築が大変重要になってきています。そこで子どもを中心に据えた「地域教育コミュニティの構築」が子どもはもちろん、子どもから始まる大人同士の「まなび」が大人同士のふれあいへ、そして地域、まちづくりへと発展する可能性を秘めています。

子どもの健全な環境づくりの整備や方策は、学校だけではなく、さまざまな地域住民とのかかわりの中で育んでいくものであることは、今までの「学校と地域の融合教育研究会」が各地で取り組んできた実践活動から見ても明らかで、子どもの教育だけではなく地域住民の自治意識や地域の自立や地域コミュニティづくり、仲間づくりとも関係することであります。「開かれた学校づくり」や「地域の教育力」、「学校と地域の融合」といわれ、学校教育と社会教育や生涯教育の立場と融合した「学社融合」によって、子どもを中心に据えた「地域教育コミュニティ」が子どもはもちろん、大人同士の「まなび」ふれあいへそして地域、ま

ちづくりへと発展する可能性を秘めていくことの必要性を、いままで大きくアピールしつづけてきました。

融合研では昨年に融合研創立10周年記念事業として、各地でミニフォーラムを開催しながら「フォーラム in しまね」をむかえ、11月に「賢島ミニフォーラム」で終わりました。そこには大変大きな共通課題が見えてきました。それは、新しく開発された街、古くから形成されてきた街、人口が急増している街、人口が少なくなってきた過疎の街等に関係なく、日本の全ての街で「教育」が大きな曲がり角に来ているということです。これから学校教育も社会教育もどの方向に進んでいくのか？そして、そのシステムをどう創るのか？ということが、私たちに問いかけているということです。

H19年8月に開催された『第47回社会教育研究全国集会[阪奈和集会]』の「分科会24 学校と地域を結んで教育再生・学社融合」で、この分科会まとめ役の手島勇平さん(新潟市教育委員会)が「**これからの教育再生する方法は、学社融合しかありません。**ぜひ皆さんとともに推し進めていきましょう！！」と、真剣な眼差しと、腹に座った低い声でおっしゃられた言葉が、いまでも私の胸深く残っています。この言葉の通り、これから学社融合をどう推し進めていくか？私たちに問いかけています。

これからの活動を通して大阪では次の展開が考えられています。

1. 「学社融合」による「教育コミュニティ」の展開

大阪府教育委員会では、「教育コミュニティ」という概念で **学校—地域—家庭** を再編成していこうと、平成14年から地域教育協議会「すこやかネット」を大阪府内334中学校区(大阪市を除く)に立ち上げ、学校と地域を「教育と子育て」を連携・融合し、新しいコミュニティづくりを進めていく事業が実施され、これまで府内で数々の先進的な実践活動がなされてきました。

事業としては既に終わり、これからはこの「教育コミュニティ」を地域活動として定着させ、「学ぶ＝教育」ということから地域コミュニティを創造していかなければなりません。しかし、状況はそんなに楽観できるわけではありませんが、少なからず、学社融合により取り組みに推し進めることができると考えます。

2. 「親学習(親まなぶ・親をつたえる)」の展開

子どもを学校だけではなく、家庭だけではなく、地域で育てるという「子育ての社会化」の時代の中で、子どもにどうかかわりを持っていくか、親とは何なのか、親の役割は何なのかということで、子どもをどう育てるかではなく、親自身がどう育つか、大人自身の役割を焦点に社会教育の教材として「親学習(親をまなぶ・親をつたえる)」を、平成16年に大阪府教育委員会が作成しました。また同時に「親学習リーダー養成講座」を開講し、対話や交流をとおして親のあり方をまなぶ、地域の推進役となる人材を養成しました。その結果、大人同士のコミュニケーションスキルアップや、大人同士のネットワークづくりから、子育て・親支援の輪を広げつつあります。

3. 「学社融合」をになう「地域コーディネーターの役割」の展開

これからは、[**学校—地域—家庭—企業の融合**] をするために、それぞれの役割を理解した上で、コーディネートをする人材や組織の充実が大切です。もちろん、その中心に子どもを据えた「地域教育コミュニティ」として、学社融合を展開していくことはいまでもありません。これからは、「企業」も「地域教育コミュニティ」に融合することが必要とされます。それは、少子化、高齢化、資源としての「ひと」とらえるならば、企業にとっても大変重要な役割を担うことになる、と考えられます。そのための、今までとは異なる人材育成や、双方の情報発信・情報共有ができる組織づくりや、相互に支援するネットワークづくりが必要となります。そして、双方にメリットのある、その地域にあった「地域教育コミュニティ」づくりをすることにより、子どもから高齢者を含む大人までの関係づくりを生むことから、地域のまちづくりへと展開する可能性が秘められていると、期待することができます。

1 「第12回融合フォーラム in 松山」 開催要項（案）

（兼）平成20年度 松山市PTA研究大会 開催要項（案）

PTAが主体となって長年にわたって「学校づくり」「まちづくり」を発信してきた松山市での開催になりますので、今回も大いに期待ができます。

現在、地元の実行委員会で詳細にわたって検討中です。これまでに、決定していることをお知らせ致しますので、会員の皆様におかれましては、日程の確保と交通手段の確保にご留意ください。

1. 開催の趣旨

「子どもたちの育ち」は、もはや「親だけで」「学校だけで」「地域だけで」担っていく時代ではありません。様々な立場や年齢層の人たちが「子どもの育ち」に関わりあうことで、自らも「育ちあう」ことのできる環境が求められています。

松山市小中学校PTA連合会は、91単位PTA、PTA会員37000名余、児童生徒数43000名余で構成されており、平成13年より「読み聞かせボランティア」「おやじの会」「安心安全対策」などを軸とした、『学社融合』の実践を進めてまいりました。

また、平成18年3月には“社会全体で子どもたちを支えあうまち松山”を目指して、『松山市青少年育成市民会議』が設立されました。この会議は、子どもたちの育成に関係する団体が、連携や協力しながら、主として実践活動を通して子どもたちを育てていくことを目的としています。PTA連合会も市民会議の一員として、他団体と協働しながら子どもたちの育ちのための活動を実践しています。

（以下、キーワードとして）

市P連が発信する学社融合、

市P連が中心的役割を担う市民会議

2. 主催 学校と地域の融合教育研究会 松山市小中学校PTA連合会

3. 共催 松山市 松山市教育委員会

4. 後援 愛媛県教育委員会

5. 日時 平成20年8月2日（土）13：30～
8月3日（日）12：00

6. 会場 エスポワール愛媛文教会館

7. テーマ （未定）

8. 日程

8月2日（土）

①オープニングセレモニー（13：30～13：50）

学校と地域の融合教育研究会会長あいさつ

松山市小中学校PTA連合会会長あいさつ

来賓あいさつ

②基調提案（13：50～14：30）

③分科会（14：40～17：00） 各会場
第1分科会～ 第5分科会までを予定。
テーマ、コーディネーター、実践発表者については、現在検討中。

④交流会（18：00～20：00）

8月3日（日）

⑤パネルディスカッション（9：00～11：45）
テーマ、コーディネーター、登壇者については、現在検討中。

⑥エンディングセレモニー（11：45～12：00）

9. その他

◎交通機関について

松山市駅から ・市内電車（道後温泉行き16分）～「道後温泉駅」下車～徒歩約10分
・市内バス（東循環約20分）～「祝谷」下車～徒歩約2分

松山観光港から ・市内バス（道後温泉駅行き約40分）～「道後温泉駅前」下車～徒歩約10分
・郊外電車（高浜横河原線21分）「松山市駅」下車～市内電車（道後温泉行き16分）～「道後温泉駅」下車～徒歩約10分

松山ICから ・車で約30分

松山空港から ・車で約30分

◎宿泊について

エスポワール愛媛文教会館（〒790-8545 愛媛県松山市祝谷町1丁目5-33
TEL089-945-8644 FAX089-945-1459）

洋室ツイン4室・和室12畳2室（各3500円）予約済

道後温泉 にぎたつ会館（〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚118-2
TEL089-941-3939 FAX089-932-8370）

洋室シングル10室・和室15畳2室 予約済

<http://www.islands.ne.jp/nigitatsu/service/yutai/index.html>から
特別宿泊ご優待券（一般のお客様専用）をダウンロードして持参すると
1泊朝食付き・税サービス料込み6500円。

◎参加費；検討中

2 「第13回融合フォーラム in 厚木（仮称）」情報

○第13回融合フォーラムが、神奈川県厚木市に決定しました。

○日時は未定。9月19日から23日の5連休の後半を使いたいという意向があります。

○内容 企業との連携、教育機関や県、他市との連携も考えていきたい。

※ 3回ぶりの東日本での開催になります。融合研の事例としてはきわめて珍しい「企業との協力関係」で
進んできた面も提案していただけることと思います。

また、交通至便なところですので、地方の人にとっては、オプションの旅行も組むことが可能です。

（以下に、青木支部長からのメールの一部を転載します。）

（前略）・・・企業も私達地域側もどのように接したらいいか試行錯誤の状態です。何事も学びで

す。今までは企業との接触といえば、寄付の催促程度でしたからね。

企業にとってもこのような企画は本当にびっくりでしょうし、大きな収穫ではないかと思えます。融合研の「WIN&WIN」の実践ですね。楽しみ、楽しみです。

3 役員会報告(2007年12月29日開催)

12月29日に、「パンゲア」において役員会を行いました。その内容をお知らせします。

■議事内容

- ①会長挨拶
- ②10周年記念フォーラムを終えて
- ③10周年記念誌進捗状況
- ④今後のフォーラムについて
- ⑤融合研「セキュリティ委員会」(仮称)の設置提案
- ⑥その他

■決まったこと

①来年の全国フォーラム開催 (松山市;角田会員から報告)

日時; 8月2日(土)13時30分~3日(日)12時

会場; 愛媛・松山市「エスポワール愛媛文教会館」

主催 学校と地域の融合教育研究会・松山市小中学校PTA連合会

内容 基調講演、分科会は第5分科会まで作ることや、パネルディスカッションで構成。

内容については、今後さらに詰めていく。

※ PTAが多く参加することが特徴。約3百人。

本年度のPTAの大会では、全国フォーラムにつなげるため、食育、学社融合、子どもの発表と3分科会構成にした。

□出た意見

- ・屋台フォーラムを復活させてはどうか、
- ・中学校に焦点を当てた分科会を設置してはどうか、
- ・分科会を開催する前に「学社融合」の勉強をする場を設けてはどうか、
- ・PTAの人たちに1日目・2日目と参加の割り振りをしてはどうか、
- ・PTAでも1、2つの分科会を設定させたい、
- ・スポーツをテーマにしたものはどうか、
- ・森林環境など愛媛県の特徴を出したテーマを設定してはどうか

□今後については、遅くとも3月ぐらいにはフォーラムの骨組みを決めていく

②愛媛の次の全国フォーラム開催地 (神奈川県;青木会員が説明)

※神奈川県から開催の意思表示があったこと。他に意思表示をした地域はなかったこと。厚木地区が会員にとっても意義のある実践を続けていること、等を勘案して「厚木地区に決定したい。」という会長からの提案の後、全役員の同意を得て決定しました。

- 日時は未定。9月19日から23日の5連休の後半を使いたい
- 内容 企業との連携、教育機関や県、他市との連携も考えていきたい

③「セキュリティ委員会」(仮称)の設置 (宮崎会長から提案)

□委員会の役割・話し合っていくこと

- ◎全国フォーラム開催するに当たっての運営についてきちんとしたルールが今までなかったので、運営細則(共催のあり方、運営のあり方、費用負担のあり方、年報作成のあり方など)を決める。
- ◎融合研に降りかかるトラブルの処理を考える
- ◎本の販売細則
- ◎その他必要のあるもの

□委員長;

・種田会員

・委員・永谷会員、佐竹会員、常田会員、岸会員、矢吹会員、宮崎雅子会員、中村智成会員(ホームページセキュリティがあるので、欠席でしたが決定)

■報告事項・協議事項

◎10周年記念誌について

- ・3月末を目途に発行したい。
- ・発行部数は350~400部で、頒価2000円。
- ・逆算して印刷代を設定して、本部からの予算を措置しないようにしたい。
- ・構成案は別紙(話し合い反映版)。

◎ホームページの充実について

- ・大阪フォーラム以来更新がないのは、活動していないように受け取られる。
- ・充実が必要。簡単に作成できるテンプレートを中村智成会員が作成中。
- ・テンプレートへの要望として、「反省点」や「今後のステップに向け」のような項目があると、前向きに活用できるのではという意見あり。

◎子ども教室のブログについて

プロバイダが変更するのに伴い、1月からそちらに移行する。

◎融合研の過去の発行資料について

- ・在庫がかさみ、宮崎家を物理的に圧迫している。
- ・セット価格など、頒価を安くして、販売するなどできないだろうか。
- ・会員の知り合いに販売促進を。
- ・在庫の分散化のために、各支部長宅に置けないかなどの意見あり。

(当日出席者・順不同)

種田会員、戸叶会員、竹田会員、佐竹会員、常田会員、会長、雅子会員、渡辺(喜)会員、城会員、小山会員、角田会員、青木会員、岸会員、矢吹会員、新しいメンバー(竹田会員が連れてきた)・阿南さん(福生市)と齋藤さん(文科省)

遅れて車会員、さらに遅れて森川会員

「第11回融合フォーラム in 島根」の反響

~メールによる発信から~

※アンケートではなく、フォーラムの終了後に、参加した人から届いたメールをまとめました。(部分的に使用したために、割愛した方もいらっしゃいます。)

参加出来なかった人のために、速報がブログでアップもされています。このメールと合わせてご覧ください。

※なお、2日間の詳細な記録は、「10周年記念誌」に掲載しますので、楽しみに!

①島根；渋谷秀文さん

とりあえず、ほっとしています。融合研の支部としてはまだまだひ弱な島根支部で全国フォーラムを開催することになり、本当に大丈夫なのだろうかとずっと思いながら頑張ってきました。本部事務局の方々にはハラハラドキドキイライラさせてしまっていて申し訳なく思っています。今回、ひ弱な支部ゆえに市内のさまざまな団体の協力を得ながらの開催になりました。ただ、今回も気持ちは唯一つ！参加される方も、準備を進める側も、開催地である真砂のおじちゃん・おばちゃんも集った人達みんながハッピーでますます元気になれるようなフォーラムしたいというただそれだけを願って準備を進めてきました。いかがだったでしょうか？

7回目となる地元の「子どもフォーラム」としては始めて、県教育委員会の藤原教育長にご参加いただきました。1日目の分科会に引き続き、2日目のパネルディスカッションにもご参加いただきました。ありがとうございます。（なんと、教育長さんには小学校の講堂で行われた交流会にも参加していただきました。）融合研以外からも遠く、大分、松山、大阪からおいでいただいた、矢野さん、若松さん、市原さん本当にありがとうございます。各文化会が多いに盛り上がっただけでなく、地元のたくさんの方達とのつながりができ、地元から参加された多くの方たちが勇気付けられ、何か行動を起こそうというきっかけを作っていただけたように思います。ありがとうございます。

2日目のパネルディスカッションに参加していただいたたくさんの方達の真砂地区のおじいちゃん、おばあちゃんがうなずきながら熱心に聴いておられる姿を見ることができとてもうれしく思いました。真砂地区で何か新しい動きが生れるかもしれないという気持ちにさせていただけるとなるとパネルディスカッションでした。

融合研の皆様には、日時だけは早くからお知らせしていたものの、詳細がなかなか決まらずいらされた方もおられるのではないかと思います。本当に申し訳なく思っています。そんな今回のフォーラムに全国からたくさんの方にご参加いただき、スタッフ一同大感激です。多くの方から「良かったよ。」とか「すごいですね。」などのお言葉をいただき、またまた感激しております。いたらぬ部分が数多くあったにもかかわらず、そのような言葉をかけていただき、地元から参加していただいた方々も、大いにやる気になっておられるのではないかと思います。本当にありがとうございます。

個人的には、2日間手伝ってくれた小学校4年の息子が、「父さん、いろんなおじさんやおばさんから『ありがとう』とか『えらいね〜』とか言われたよ。いろんな人が集まると楽しいね。またやりたいね！」と言ってくれました。ありがたいなあと思っています。また、今回実行委員として協力していただいた多くの団体、真砂地区の皆さん、そして我が島根支部のメンバーおよびネイチャーキッズ寺子屋のスタッフなど、不手際が数多くありながら、その場その場で臨機応変に対応していただく姿を見て本当にありがたく思っております。今は、無事終わることができてほっとすると同時に、多くの方への感謝の気持ちでいっぱいです。本当に、ほんとうにありがとうございます。

今は、全国に負けないう島根から新たな情報発信をするために自分に何ができるかを考えたいなあと思っています。（ただし、無理なく、楽しく！）とにかく、何度も言うようですが、本当にありがとうございました。（今晚は早めに寝ます。おやすみなさい！）

島根支部　　渋谷でした！

②融合研事務局　広報担当のベッカム中村です。

まずは島根フォーラムにご参加の皆様、お疲れ様でした。また、素晴らしいフォーラム実現にご助力下さいました実行委員会の皆様、真砂地区の皆様、真砂小の先生方に御礼申し上げます。

さて、このたび融合研のホームページアドレス(URL)が変更となりました。

旧) <http://yu-go.info>

新) <http://yu-go-ken.net>

次に速報についてです。

昨日は真砂小学校の教頭先生のご協力を得て速報を配信しました。懇親会の様子などは今、写真を選びながら更新しています。よかったらご覧ください。

速報ブログ

<http://forum.yu-go-ken.net/>

③岩手県；藤尾智子さん

渋谷さん、大畑さん他関係の皆さんへ。島根よりちょっと涼しい@岩手から藤尾です。

とても気持ちのいいフォーラムに参加させていただきありがとうございました。フォーラムの最後は、真砂の自然がバックの舞台上、自然と学校と人が融合したフィナーレでした。

学校とは、文科省や教育委員会のもではなく、さらには、子どもの教育の場というよりは、大人であれ子どもであれ学ぼうという人たちが集まる場なのではないだろうか……。そんな思いで帰途しました。それぞれの分科会もとても質の高い話し合いだったことに加えて、アイガモ米や棚田、温かいおもてなしの心をふんだんに楽しませていただいた皆様に感謝です。

④仙台市；野澤令照さん

融合フォーラム in しまねの実行委員の皆さん、関係者の皆さん、ありがとうございました。そして、ご苦労様でした。

会場の真砂小学校に着いたときから、ほわっとあったかい空気に包まれた感じがして、とても心地よく過ごせました。可愛らしい、でも堂々とした子どもたちの歓迎の言葉からフォーラムが始まりましたが、基調提案、分科会、そして大懇親会と、ずっと一貫して感じたのは、最初に感じたほわっとした温かさでした。そのほっとするあたたかさの中にずっと包まれていたいと思いました。

あれはいったいなんだったんだろうと考えていました。真砂という自然豊かな環境でしょうか、素朴であたたかい真砂の人たちの心でしょうか、人間にとって忘れてはならないものを教えてもらったような、そんな気持ちになっていました。

私は仕事の関係で1日目しか参加できませんでしたが、2日目もとても良かったと聞いて、ますます残念に思っています。でも、1日目は第5分科会でことばを育む親の会の方々といろいろな話がありました。融合研としても初めての取り組みだと思いますが、立場を超えて一緒に話をすることの大事さを感じました。親の会の方々にも融合の考え方を新鮮な思いで受け止めてもらえましたし、私の方も障害児の親御さんたちの思いを強く感じることができ、とても勉強になりました。

生まれて初めてご馳走になったし鍋の美味しさは、絶対忘れません。豆腐も、鮎も、こんにゃくも、そしてお酒も、最高の美味しさでした。いえ、真砂の皆さんの、おもてなしの心こそ、何よりのご馳走でした。

大畑さん、渋谷さん、そして島根支部の皆さん、本当にありがとうございました。いっぱいいっぱい元気ももらって帰ってくることができました。心から感謝しています。いつの日にか、休みを一杯もらって、ぜひ遊びに行きたいそんな思いをつのらせてくれた島根フォーラムでした。

⑤厚木の佐々木です。

やっぱり、融合研の地域とふるさと・島根真砂の心温まるフォーラム楽しかったなあ！

互（五）右衛門露天風呂一番の入らせていただき、身体と心が神奈川に帰っても冷（酔いも醒）めなかった心と、朝の竈で榎谷さんと真砂の婦人会のおばちゃんと火起こしからのアイガモ米！！幸せでした。

渋谷さん・大畑さん・そして津和野の澤江さん・39度のお熱の品川さん、本当に『ありがとう』融合研の皆さん、嬉しさと楽しさと元気をいただきました。感謝！感動！感激！三感ありがとう。

秋田のなまはげ 佐々木 徹

⑥山口県；磯部 登志恵さん

大変有意義で、中身の濃いフォーラムでした。私は、第4分科会、自分で関わっていることでしたので、今後の活動に生かしていくつもりです。もっと時間があれば、色々な角度で質問したかったです。残念！さらに、二日目のトークは、本当に楽しかったですし、みなさん実践でここまで活動してこられた方だからこそ聞ける話であったかと実感しています。とにかく、皆さんの話が面白かったですね。このようなパネルディスカッションは、珍しいのでは？

話の内容を必死で筆記しましたので、自分なりに理解をさらに深めて次回に繋げていきたいと思っています。

懇親会でのお料理、帰りにいただいた焼きおにぎり、感動しました。子ども達の笑顔も素敵でしたね！五右衛門風呂に入れなかったのが、心残りかな～でも、グランドにおいてあった竹で作ったジャングルジム？私たちの活動の中で、つくれるかな～なんて盛り上がってます。

次回皆さんにお会いできるのを楽しみに、少しでも学社融合が進捗していけるよう頑張ります。

今回の多くの人との出会いに感謝～ またご指導くださいませ！

⑦融合研事務局 広報担当のベッカム中村です。（再登場）

磯部 登志恵さん、大変貴重なご意見とご感想、ありがとうございました。来年の松山も柳井からフェリーに乗ればあっという間ですので、スケジュールが許せばぜひご参加下さい。

会長の宮崎稔さんは常々「できる人が、できる時に、無理なく、楽しくやってみましょう！」とおっしゃられています。少しずつ、一步一步、先生も子どもも保護者も地域の方もみ～んな楽しく安心して住めるまちづくりにつながるといいですね。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

●島根フォーラムの全日程の速報の更新が完了しました。

<http://forum.yu-go-ken.net/>

「comments」という文字をクリックするとコメントを投稿することができますのでよかったですら感想を書き込んでください。

また、参加された方は「この分科会はこんな内容だったよ」というような内容を書き込んで下さると参加できなかった皆さんが喜ばれると思いますのでご協力、お願いいたします。

私は・・・写真を撮ったり整理したりするのにてんてこ舞いで・・・おまけに分科会の時間は鮎の塩焼きやしし鍋作りをよだれを垂らしながら見学していたので・・・殆ど内容を把握しておりません(^_^;; 何のためにフォーラムに参加したのやら(爆)

あっ、鮎の雄と雌の見分け方や天然物と養殖物の見分け方は教わって来ました(^_^;;

写真だけですが、フォーラムの雰囲気は少しでも感じていただけたら幸いです(^_^)

⑧岡山；太田直宏さん

こんにちは。融合研 ML デビュー、太田直宏@岡山 YMCA & 宇野小学校 PTA 会長です。

先日の融合研フォーラム、大変有意義なときでした。素晴らしい人との出会い、おいしい食事&アレ、楽しい交流、すべてに感謝でした。（以下、長文なので略させていただきました）

事務連絡

(1) 2010年度以降のフォーラム開催の立候補を受け付けます。

毎年各地で開催している「融合フォーラム」は、地域からの立候補を元に開催地を役員会で決定しています。

○2008年度は、愛媛県松山市で、8月2日（土）～3日（日）に開催します。

- 2009年度は、神奈川県厚木市で、9月下旬の予定でかいさいします。
- 2010年度以降の開催地は、まだ決定しておりませんので、立候補の意向がある地域は本部事務局までご連絡下さい。

(2) 2009～2010年度の役員の立候補を受け付けます。

融合研の役員は、2年に一度の改選を致します。役員として運営に関わりたいという意向のある方は、事務局までご連絡ください。なお、支部長も役員ですが、支部長については支部で決定した人を自動的に役員と致します。

編集後記（のようなもの）

会報36号をお届けします。昨年は、設立10周年という事で、全国10箇所で開催し、大きな成果を挙げることが出来ました。主催した多くの関係者や参加した方々に感謝致します。それぞれの様子や記録は、記念誌に掲載されますので、ゆっくりとご覧ください。

今年のフォーラムは、愛媛県松山市で開催されます。PTAが中核となって学社融合を進めてきたという特徴ある地域です。会員の期待に実践でお応えできる事も多くあると思います。観光地でもあり、遠方の人にとっては飛行機便の手配等を早めにしておくことをお勧めいたします。 (M)